

Istanbul Weekly vol.5-no.15

イスタンブール ウィークリー

発行：在イスタンブール日本国総領事館 発行日：2016年4月22日（金）

— 今週のポイント —

- 政治**：世界報道の自由ランキングでトルコは151位。
OICサミット、「イスタンブール宣言」を採択して閉幕。
- 経済**：中央銀行、金利引き下げ。
三菱電機、エアコン生産の会社設立。
- 治安**：ギュレン関連団体に対する捜査で会社社長や銀行員らを拘束。
イスタンブールで大規模警戒活動。
イスタンブールのAKP支部事務所で音響爆弾が爆発。
- 軍事**：トルコ軍イラクでの戦闘でISIL戦闘員32名を殺害。
ISIL支配地域からのロケット弾により4名死亡。
- 社会**：3段構造の海底トンネルプロジェクトが5月に開始予定。
24日、イスタンブールの道路通行止めに注意。

政治

【内政】

●世論調査結果：AKP支持率56%、MHPとHDPは10%を切る

世論調査機関のゲジジ社は、世論調査結果を発表。今日総選挙が行われた場合、どの政党に投票するかとの質問に対し、AKPが56%と過半数を超え、CHPが25.8%でこれに続いた。一方、MHPは8.9%、HDPは7.3%となり、国会での議席獲得のための最低得票率の10%を下回った。AKPが主導する実権型大統領制については支持が55.2%、不支持が35.5%となった。（4月20日付C紙4面）

●世界報道の自由度ランキングでトルコは151位

国際NGO「国境なき記者団」が発表した「世界報道の自由度ランキング」において、トルコは世界180カ国中151位となり、昨年の149位から更に2つ順位を下げた。同発表において、トルコは「エルドアン大統領の専制的な体制が社会の亀裂をより一層深めている」等と言及された。（4月21日付C紙4面）

【外交】

●OICサミット、「イスタンブール宣言」を採択して閉幕
イスタンブールで14日～15日にかけて開催されたイスラム諸国会議機構（OIC）サミットは、「イスタンブール宣言」を採択して閉幕した。同宣言では、イランによるバーレーン、イエメン、シリア、ソマリアといったOIC加盟国への内政干渉及びテロ支援を非難する内容が含まれた。なお、エルドアン大統領は、加盟金を支払っていない20カ国を名指して批判した。トルコは2019年までOIC議長国を務める。（4月16日付H紙1面）

●ローハニ・イラン大統領がエルドアン大統領と会談

16日、イスラム諸国会議機構（OIC）サミット参加のためにトルコを訪問したローハニ大統領は、エルドアン大統領と会談した。会談後の記者会見でエルドアン大統領は「両国間には意見の相違があるのも事実であるが、この地域の流血を止めなければならないという点で一致した」述べた。また、両国間の第3回ハイレベル戦略会議が開催され、両国間の貿易量を現状の97億ドルから300億ドルまで拡大していくことで合意した。（4月17日付M紙インターネット版）

●ダーヴトオール首相、欧州議会を訪問

20日、ダーヴトオール首相は、フランス・ストラスブールにある欧州議会を訪問した。同首相は、トルコに対する査証免除に関しては必要とされる72項目の作業項目のうち、未履行は一桁台に減ったと述べ、仮にEU側がトルコの履行にもかかわらず査証免除を認めなければ、EU間で3月18日に合意された事項は無効になると発言した。（4月22日付H紙1面）

経済

【マクロ経済】

●1月の失業率、0.2%低下

1月の失業率は、前年同期比0.2%低下し、11.1%。15歳以上の失業者数は、同3万1000人増加し329万人。15-24歳の若年失業率は同0.8%低下し19.2%（4月15日付AAインターネット版）

【経済政策】

●トルコのメガインフラ・プロジェクト

ユルドゥルム運輸通信相は、トルコのメガインフラ・プロジェクトの状況を発表。同大臣によると、現在進行中のプ

プロジェクト（イスタンブール第3空港、第3ボスポラス大橋、イスタンブール-イズミール高速道路（イズミット橋を含む）、ゲブゼーハルカル間の路線改修、ユーラシアンネル、バクーートビリシーカルス鉄道、オヴィットトンネル）は、年間86億リラレベルの資金規模であり、6万5500以上の雇用創出効果がある。（4月15日付HDN紙1、10面）

●3月の財政赤字、24億ドル

3月の財政赤字は、前年同月比2億リラ減少し66億リラ（24億ドル）。1-3月期では4600万リラ（1600万ドル）の黒字となった。同期間の財政収入は、前年同月比16.4%増加し1317億リラ。税収は同12.7%増加し1085億リラ。歳出は同11%増加し、1317億リラとなった。（4月15日付AAインターネット版）

●中央銀行、金利引き下げ

中央銀行は、翌日物貸出金利を10.5%から10%に引き下げた。引き下げは2か月連続。1週間物レポ金利及び翌日物借入金利はそれぞれ7.5%、7.25%で据え置いた。中銀は、利下げの理由について、世界的な金融環境の改善等を挙げた。利下げ決定後、リラ相場は1ドル2.83リラから2.81リラに上昇した。（4月20日付AAインターネット版他）

【企業等の動き】

●三菱電機、エアコン生産の会社設立

14日、三菱電機はイスタンブールにルームエアコンを開発・生産する新会社を設立すると発表。2018年1月にマニサで生産開始予定で、資本金は8060万リラ。2020年までに400人の雇用を見込んでいる。トルコのルームエアコンの需要は年間100万台であり、同社は、人口増加と共に需要拡大を見込むと共に、近隣のバルカン諸国での需要拡大にも期待する。新会社は、同社の空調及び冷却システムビジネスのグローバル戦略における中核拠点となる。（4月15日付HDN紙11面）

●ターキッシュ・エアラインズの乗客数増加

ターキッシュ・エアラインズの第1四半期の乗客数は、地政学的な緊張の高まりにも関わらず、前年同期比10.3%増加し1420万人となった。国内線は同11.4%、国際線は同9.4%増加。（4月15日付HDN紙11面）

●ホンダ・トルコ、新世代シビック製造へ

ホンダ・トルコは、1億2300万リラを投資し、今年第4四半期に新世代シビックを生産する準備をしている。従業員は現在の800人から1200人に増やし、1日の生産数はこれまでの2倍になる予定。（4月18日付H紙13面）

【その他】

●**アンタルヤ国際園芸博覧会、100万枚のチケット販売済**
アンタルヤ国際園芸博覧会の1日入場券とシーズンチケットが併せて100万枚以上売れている。4月22日の同博覧会のオープニングセレモニーにはエルドアン大統領が出席予定。40カ国以上が同博覧会に参加する。日本庭園のプロジェクト・マネージャー、フジモト・タケオ氏は、この庭園では日本の自然を再現すると語った。（4月20日付HDN紙1、11面）

治安

●新アンカラ警察本部長が、市内で偽造ナンバー車両の抜き打ち走行実験

3月13日のアンカラでの車両自爆テロの後、アンカラ警察本部長に就任したカラーアスラン本部長が、市内の警戒状

況をチェックするため、市内の主要通り等で連続三日間にわたり、盗難ナンバーを装着した車両で走行した。結果、市内の主要道路1400ヶ所にあるナンバー自動読み取り装置は、同本部長が試した41の盗難ナンバー全てを検知できず、市内に複数箇所ある警察官のチェックポイントも走行したが、偽造ナンバーをとがめた警察官はいなかった。この結果に同本部長は激怒し、関係幹部に対処策をとるよう直ちに指示をした。（4月5日付S紙インターネット版）

●スウェーデン警察、PKK幹部を拘束

13日、スウェーデン警察は、ストックホルムからアンカラへ向かう航空機に搭乗しようとしていた国際指名手配中のPKK幹部（氏名不詳）を拘束した。同幹部は、2012年～2014年にかけてドイツ検察から指名手配を受けていた。（4月15日付HDN紙4面）

●トルコ南部でアル・ヌスラ戦線容疑者を逮捕

14日、アダナ県警テロ対策課は、アダナ市内複数の箇所で一斉取締りを行い、13名の容疑者を拘束、このうち11名がシリアでアル・ヌスラ戦線の戦闘員のリクルート活動を行っていたなどとして逮捕された。（4月15日付HDN紙4面）

●2015年のスルタンアフメット事件のロシア国籍の容疑者を釈放

14日、2015年1月にスルタンアフメットの観光警察入口で発生した自爆テロ事件の容疑者とされていたロシア国籍の2名が裁判所の命令により釈放された。ただし、トルコ滞在中は週に2度警察署に出頭しなければならない。（4月15日付H紙13面）

●イスタンブールで対テロ作戦

14日、イスタンブール県警テロ対策課はエセンレル区とガズィオスマンパシャ区で対PKKの一斉取締りを行い、複数名を拘束した。（4月15日付H紙13面）

●パチカンがISILの攻撃ターゲットに

トルコ情報筋によれば、ISILはパチカンへの攻撃を計画しているほか、ドイツの首都ベルリンも攻撃対象として狙っているとのこと。また、アブ・タルハというISILメンバーがハタイ県を經由してイスタンブールへ爆発物を運ぶ計画があるとのこと。（4月15日付H紙12面）

●MIT内のギュレン関係者に対する調査開始

イスタンブール検察庁は、AKP政権を転覆させようとしているギュレン系と関係があるとして、MIT所属のハルク・オズジャンの調査を開始した。密輸・組織犯罪対策課は4日付文書をMITに送付し、同人と「パラレル国家」との関連情報を提供するように要請した。（4月18日付HDN紙1面）

●PKKによる攻撃で警官3名が死亡

16日と17日にシュルナック県、マルディン県及びハッカリ県で行われた対PKK作戦中に治安当局側が攻撃を受け、合計警官3名が死亡、兵士8名が負傷した。（4月18日付HDN紙3面）

●イスタンブールのAKP支部事務所で音響爆弾が爆発

17日夜、イスタンブールの金角湾そばのストウルジェにあるAKPイスタンブール支部事務所に音響爆弾が投げ込まれた。この事件による負傷者はいなかったが、15歳の容疑者が拘束された。（4月18日付C紙3面）

●ファーティヒ・モスクでテロ攻撃計画の入ったディスクが見つかる

15日、イスタンブールのファーティヒ・モスクにカバンが置き忘れられていたが、警察が中身を調べたところ、このカバンの中から自爆テロ計画や図面、ISIL関連文書などが入ったディスクが見つかった。イスタンブール県警は監視カメラなどからカバンの持ち主を捜査中。（4月18日付M

紙インターネット版)

●コonyaで地震

17日、コonyaでM4.1の地震があったが、この地震による被害はなかった。(4月18日付M紙インターネット版)

●石油精製所の火災で1名死亡、4名負傷

18日、コジャエリ県にあるトルコ最大の石油精製会社Tuprasで火災が発生し、作業員1名が死亡、4名が負傷した。火災の原因は溶接の際に発生した火花によるものと見られる。(4月19日付HDN紙2面)

●エスキシェヒルでの殺人事件容疑者3名を釈放

18日、カイセリ裁判所第3法廷は、2013年のゲジ公園デモで19歳の青年を撲殺した容疑で逮捕していた3名の容疑者の釈放を命じるとともに、同容疑で拘束されている2名の警察官については継続して拘束することを命じた。(4月19日付HDN紙3面)

●ギュレン関連団体に対する調査で会社社長や銀行員らを拘束

18日、トルコ警察は、テロ及び国家転覆罪により告訴されている米国在住のフェトフラー・ギュレンの活動に財政支援を行っていたとして、およそ100名の建設会社社長やBankasya行員らを拘束した。(4月19日付HDN紙1面)

●ISIL支配地域からのロケット弾で3人負傷

19日、キリス県で、シリアのISIL支配地域から発射されたロケット弾3発が着弾し、その内、ピラリバベシ地域に着弾した一発により火災が発生し、3名が負傷した。(4月20日付HT紙13面)

●PKK掃討作戦中に兵士2名が死亡

19日、シュルナック県でPKK掃討作戦中の治安部隊とPKK戦闘員との間で戦闘が発生し、兵士2名が死亡、同4名が負傷した(4月20日付HT紙13面)

●イスタンブールで大規模警戒活動

19日、イスタンブール県警は、5000人の警察官を動員して、39の地域で、歩行者や車両に対する検問、所持品チェック、IDチェック等を実施した。(4月20日付M紙インターネット版)

●流出ISIL名簿にトルコ国籍者212人

3月に4000人分のISIL参加者名簿がメディアにリークされたが、警察当局によると、同名簿の中には、トルコ国籍者が212人含まれていた。また、同名簿に記載された人物のうち何名かは、既にトルコに戻っていたり、負傷してトルコの病院で治療を受けたりしているという。(4月21日付C紙7面)

軍事

●インジリッキの米軍兵士の頭に袋を被せようとした2名を拘束

16日、愛国主義系の団体であるトルコ青年同盟(TGB)のメンバー2名が、インジリッキ空軍基地で米軍兵士の頭に袋を被せようとして拘束された。彼らは、「2003年に米軍兵士の集団が北シリアのスレイマニエ駐屯中のトルコ兵11名を拘束し、彼らの頭に袋を被せた事件の仕返しであり、トルコ国内で発生しているテロも米国に責任がある」と述べた。(4月18日付HDN紙2面)

●シリアへ渡ろうとしたPKK戦闘員18名を殺害

18日、マルディン県ヌサイビンからシリア領内のPYD/YPGの支配地域であるカミシュリ(Qamishli)へ越境しようとしたPKK戦闘員とトルコ軍との間で衝突が発生、幹部2名を含むPKK戦闘員18名が死亡した。(4月19日付HDN紙1面)

●ISIL支配地域からのロケット弾により4名死亡

18日、キリス県でシリア側のISILが放った5発の砲弾が着弾し、子ども3名を含むシリア人4名が死亡、6名が負傷した。トルコ軍は交戦規定に基づき、ISIL側へ反撃した。(4月19日付HDN紙9面)

●トルコ軍イラクでの戦闘でISIL戦闘員32名を殺害

19日、イラクのバーシカ訓練基地に駐屯するトルコ陸軍の戦車が、ISIL戦闘員による誘導ミサイル攻撃を受けた。トルコ陸軍は直ちに反撃し、10名を殺害し、さらに現場から逃走しようとした22名も殺害した。また、ISIL戦闘員が使用していた建物を破壊した。この攻撃によるトルコ軍側の死傷者は報告されていない。(4月20日付HT紙13面)

●トルコ軍シリア国境沿いに戦車を多数配備

21日、トルコ軍は、キリス県のシリア国境沿いに多数の戦車を配備した。これは、シリアのISIL支配地域から発射された多数のロケット弾がキリス県に着弾していることを受けたもの。ロシアとの関係悪化により、トルコはシリア領内でのISIL空爆を実施できないため、国境沿いのISIL拠点に対して、40キロの射程を持つ榴弾砲で攻撃を加えてきた。また、治安情報筋によると、戦車と榴弾砲の他に、120ミリ大型ロケット砲も使用されており、ISILがピックアップ車両に搭載しているロケットを発見するための小型ドローンも使用されているという。(4月21日付HD紙1面)



(写真はHDN紙インターネット版から)

社会

●4月15日から禁漁開始に

今年も、4月15日より9月1日にかけて海域での漁が禁止となり、漁師は舟を修繕に出すなどメンテナンスの期間となる。禁漁期間は魚類の繁殖・保護のために設けられている(注:養殖魚の漁獲・出荷は禁漁の対象外)。(4月15日付H紙8面他)

●3層構造の海底トンネルプロジェクトが5月に開始予定

イスタンブールの交通渋滞を緩和する目的で計画されたマルマライ及びユーラシア・トンネルに続き、ボスポラス海峡の海底を繋ぐ第三のプロジェクトとして、3層構造の大イスタンブール・トンネルが計画されており、最初の入札が5月3日に実施される。3段構造トンネル内には、車道だけでなく鉄道も敷設される。完成すれば、トンネルは9つのメトロ線、高速道路TEM(Trans-European Motorway)及びE-5、北マルマラ高速道路と繋がる。5年間での完成を予定している。(4月15日付H紙21面他)



※掲載内容は、トルコの報道をまとめたものです。

(画像は4月14日付HT紙インターネット版から)

●空で鳥のパニック

17日、アタテュルク空港を出発したイスタンブール発ヘルシンキ行きのトルコ航空機が鳥に接触し、空港に引き返した。乗客は別の飛行機に搭乗し、ヘルシンキへと出発した。アタテュルク空港では鳥が飛行機に巻き込まれないよう様々な対策が講じられているが、今年だけでも鳥と接触したターキッシュ・エアラインズの航空機は7機に上り、毎年鳥の接触にともない数百万リラの損失が発生している。

(4月18日付C紙5面他)

●24日、イスタンブールの道路通行止めに注意

24日、イスタンブールで大統領府自転車ロードレースとヴォーダフォン・ハーフマラソンが開催され、一部道路が通行止めとなる。今年52回目を迎える大統領府自転車ロードレースは、午前11時40分ベシクタシュ埠頭からスタートし、スルタンアフメット地区のヒッポドロームまで130kmのコースで競技が実施される予定で、午後3時頃終了を予定している。同日開催が予定されている、ヴォーダフォンハーフマラソンはイエニカプーエユップ間を往復するコースで、第一陣は9時開始、第二陣は9時半開始を予定しており、午前11時競技終了、12時に表彰式が行われる予定。(4月20日付M紙インターネット他)

注：本文中の略語の正式名称は以下の通りです。

略語	正式名称	略語	正式名称
AFAD	首相府緊急災害事態対応総局	ÖSB	PKKの防衛隊
AKP	公正発展党（現与党）	OIB	首相府民営化管理庁
BDDK	銀行監督庁	PKK	クルディスタン労働党
BDP	平和民主主義党（クルド政党）	PYD	シリア民主主義連合党
BOT	建設・運営・譲渡方式	RP	福祉党
CHP	共和人民党（最大野党）	RTÜK	ラジオ・テレビ高等機構
DEP	民主党	SNC	シリア国民評議会
DHKP/C	革命人民解放党/戦線	SPK	証券取引監査院
DHMI	国家航空局	SSM	防衛産業庁
DISK	先進労働組合連合	TBB	トルコ弁護士協会／トルコ銀行協会
DTK	民主主義社会評議会	TCDD	トルコ国鉄
DTP	民主社会党	TDHB	トルコ歯科医師会
DYP	正道党	TESK	トルコ商工業連合
EDAM	経済外交政策センター	THY	ターキッシュ・エアラインズ
EPDK	エネルギー市場監督庁	TİKKO	トルコ労働者・農民解放軍
HDP	人民民主党（クルド政党）	TMMOB	トルコ・エンジニア・建築会議連盟
HSYK	裁判官・検事高等委員会	TOKİ	トルコ集合住宅開発局
İDO	イスタンブール海上フェリー会社	TOMA	放水装甲車
İHH	人権・自由・人道支援団体	TPAO	トルコ石油公団
İKSV	イスタンブール文化芸術財団	TTB	トルコ医師会
İSO	イスタンブール産業会議所	TÜBİTAK	トルコ科学技術研究機構
İŞİD	イラク・レバントのイスラム国（アルカイダ系）	TÜİK	トルコ統計庁
İTO	イスタンブール商工会議所	TÜPRAS	トルコ石油精製会社
KCK	クルディスタン共同体同盟（PKK系）	TÜSİAD	トルコ産業・実業家協会
KESK	公務員労働組合連合	TÜYİD	トルコ投資家関係協会
KRG	北イラク政府	YÖK	トルコ高等教育評議会
MHP	民族主義者行動党（野党）	YSK	選挙高等委員会
MIT	国家諜報機関		

注：本文中のニュースソースの略称は以下の通りです。

トルコ語新聞		英字新聞		通信社	
Akşam	A	Economist	EC	Anadolu News Agency	AA
Cumhuriyet	C	International New York Times	INYT	Agence France Presse	AFP
Haberturk	HT	Hürriyet Daily News	HDN	Cihan News Agency	CA
Hürriyet	H	Today's Zaman	TZ	Doğan News Agency	DA
Milliyet	M			Ihlas News Agency	IA
Posta	P			Interpress	IP
Radikal	R				
Sabah	S				
Taraf	T				
Vatan	V				
Zaman	Z				

在イスタンブール日本国総領事館

電話：0212-317-4600、FAX：0212-317-4604、E-Mail：istanbulweekly@it.mofa.go.jp

WEB：http://www.istanbul.tr.emb-japan.go.jp/index_j.html

Facebook：http://www.facebook.com/Japonya.Istanbul.Baskonsoloslugu

- トルコに90日以上滞在される方は総領事館に在留届を提出願います。
- 新たに配信希望される方、あるいは今後の配信を希望されない方は、以下のメールアドレスにご連絡ください。

istanbulweekly@it.mofa.go.jp

【被害】

イスタンブール邦人被害統計								
2016.4.8～2016.4.21 ※総領事館に訴出があったものを集計								
年	窃盗		詐欺		ぼったくりバー(相談)		高額絨毯購入(相談)	
	今週	通算	今週	通算	今週	通算	今週	通算
2015年		8件		6件		20件		9件
2016年	0件	1件	0件	2件	1件	8件	0件	0件

- 今週は、ぼったくりバーの被害が1件ありました。

★当館 HP 更新のお知らせ★

- 江原総領事のテキルダー・ナムック・ケマル大学訪問 (4/12)
- 対日直接投資推進担当窓口の設置 (4/4) **NEW**
- 【スポット】イスタンブール及びアンタルヤにおけるテロの脅威に関する注意喚起 (04/11)